

「PCB 処理施設見学会」「講演会」報告

はじめに

道央技術士協議会では2007年度の活動として、PCB 処理施設見学会と講演会を企画、実施しました。以下、活動内容を簡単に報告します。

1. JESCO 北海道 PCB 廃棄物処理施設見学会

日時 2007 年（平成 19 年）10 月 22 日（月）

13 時 30 分～15 時 00 分

住所 室蘭市仲町 14 番地 7

※ PCB は電気製品の絶縁油などに幅広く使用されてきましたが、昭和 43 年のカネミ油症事件により生体、環境への影響があきらかになり、1972 年（昭和 47 年）に製造や新たな使用が禁止されました。



PCB 説明会と施設見学

JESCO の PCB 処理施設は、全国に 5 箇所あり（北九州、大阪、豊田、東京）今回見学させていただいた北海道の処理施設の対象都道府県は北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野の 1 道 15 県だそうです。処理施設敷地は 4 ha で、西胆振に移転した室蘭市の清掃工場跡地を新日鉄から借用しており、2015 年（平成 27 年）までに対象地域の PCB すべてを処理し、その後施設は撤去します。撤去後の敷地は土壤汚染地域になるそうです。施設の整備費には 300 億円かかっており、震度 6～7 程度の地震に対応できる構造となっています。

現在、施設に溶接不良がみつきり再点検、処理中で 1～3 月の試運転で問題がなければ、4 月から営業運転を開始する予定とのことです。

大気中に漏れだした PCB は地球を北上しエイズウイルスの母乳に蓄積されていることに驚くとともに、科学文明が生み出した汚染物質を無害にするためには、膨大な費用と手間がかかることを再認識しました。

施設での説明は当会会員でもある日本環境安全事業(株)北海道事業所長 油井 理さんにしていただきました。

2. 講演会

演題 「雪屋 眉山商店 2007 年秋」

講師 室蘭工業大学 機械システム工学科

眉山 政良 准教授

場所 室蘭工業大学 地域共同研究開発センター
2 階 産業交流室

時間 2007 年（平成 19 年）10 月 22 日（月）

15 時 30 分～17 時 00 分



※室蘭工業大学の媚山先生に雪の冷熱利用について講演していただきました。

冬期間に降った雪を貯蔵し(貯蔵庫、雪山、パーク材被覆)その冷熱でマンションの冷房や野菜の保存等に利用する技術です。

沼田町米穀低温貯留乾燥調製施設、札幌モエレ沼ガラスのピラミット冷水循環式雪冷房、雪冷房

マンションウエストパレス、豊浦イチゴ生産団地「果夢里」等すでに実用化されている技術で、雪1トンで石油10リットルの節約、CO₂30kgの抑制になるそうです。テレビ等でも放映されているので、ご存じの方もいらっしゃると思います。

技術の基本はかつてわれわれの先祖が利用していた氷室とること、科学技術の負荷であるPCBの処理施設を見学した後だったので技術とは何かを考えさせられました。

北海道洞爺湖サミット2008では雪山氷室で保存された桜を开花させて提供するそうです。

おわりに

以上、簡単ですが道央技術士協議会の2007年度の行事を紹介しました。今後も2月から3月にかけて講演会、総会を企画中です。

(文責：道央技術士協議会事務局 遠藤 清武)